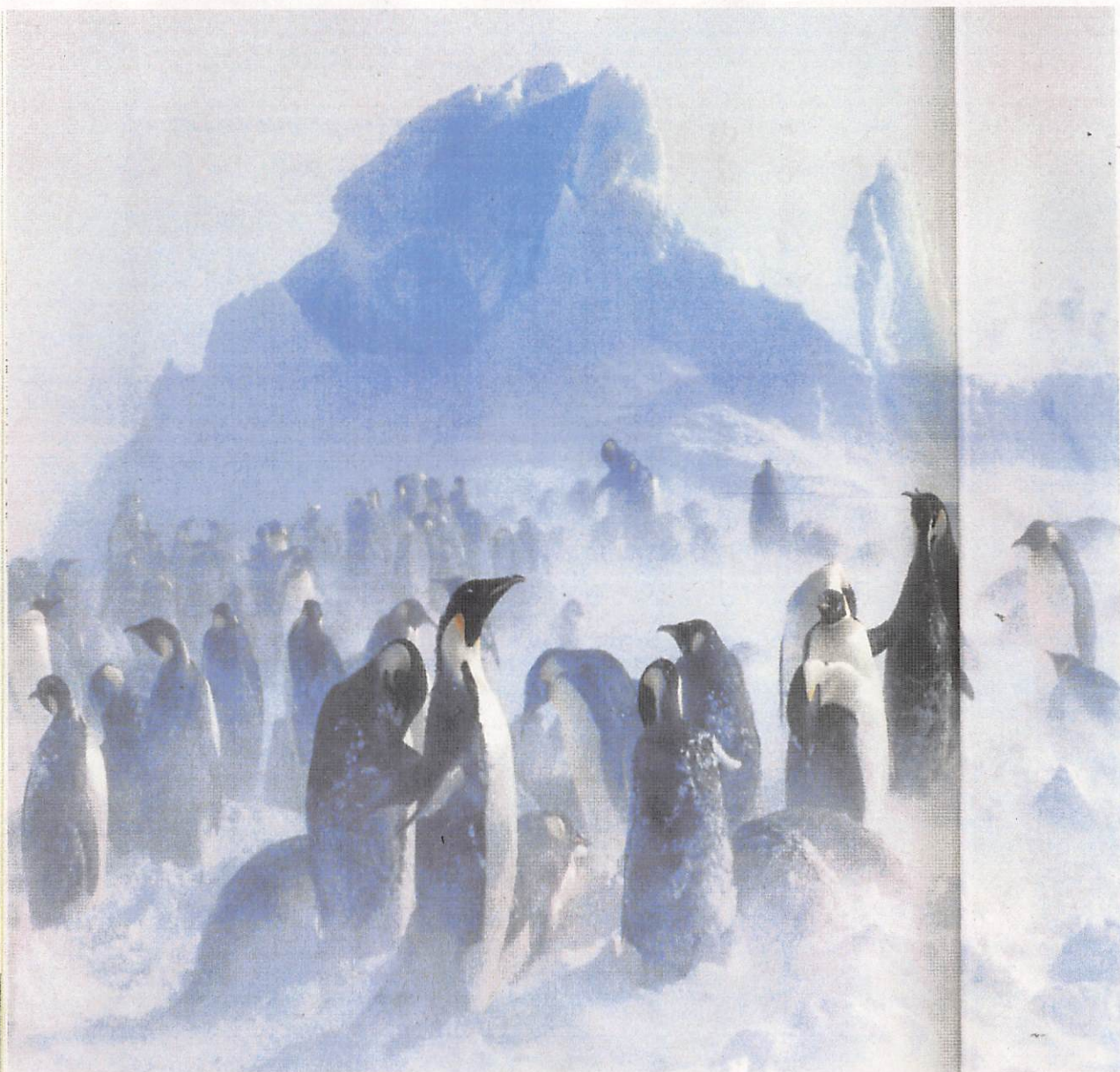


エンペラーペンギンの 子そだて

おち のりこ

こおりに とざされた なんきよくで、生まれる 生きものが
います。エンペラーペンギンの ひなたちです。エンペ
ラーペンギンたちは、どのように 子そだての きせつをす
ごすのでしょうか。



なんきよくの エンペラーペンギン



おなかの かわに くるまれて いる ひな

むかうと、こんどは めすが
ひなを だいて、さむさから
まもります。
おながが すいた、と
ひなが あいずを すれば、
めすは えさを はき出して

10

なんきよくの ② ふゆ。ゆきあらしが ふきあれる いちばん
きびしい きせつを、おすは 立ったまま、たまごを おなか
の かわに くるんで すごします。
七月半ば、たまごから ひなが 生まれます。ちようど そ
の ころ、めすが 海から もどって きます。おすは、それ
まで 四か月も、なにも たべて いません。おすが 海に

5

②なんきよくの
ふゆは ながく
五月から 九月
ごろまで。六月
から 七月ごろ
にかけては、
たいようが、
まったくのぼ
らないので、
まっくらにな
る。

三月半ば^①は、なんきよくでは
あきに あたります。エンペ
ラーペンギンが、海^{うみ}から とお
く はなれた、きまった ば
しょに あつまりはじめます。
五月ごろ、めすは たまごを
一つ・うむと、たまごを おす
に あずけて、とおい 海に
えさを とりに いって しま
います。たまごを うむのに、
とても 体力^{たいりき}を つかったので、めすは、海に いる 魚や
いかなどを たくさん たべて、体力を かいふくするのです。



きまった ばしょに むかう エンペラーペンギンたち

10

5

▶体力^{たいりき}
▶力^{ちから}

▶半ば^{なか}
①なんきよくの
あきは、三月か
ら 四月ごろ。
▶海^{うみ}



海に たどりついた エンペラーペンギンたち

も 海を めざして あるきだします。みじかく なったとは
 いえ、人間の 大人の 足でも 半日くらい かかる きより
 を、ひなたたちは じぶんで あるきとおさなくては な
 りません。これから、え さも じぶんで さがすの
 です。
 海に えさの いちばん 多い なつが、エンペラー
 ペンギンの ひなたたちの、 ひとり立ちの きせつなの
 です。

10

5

多い

人間
 大人
 (けんげん)

たべさせて やります。めすは、
 ひなの ために、海で とって
 きた 魚を やわらかく して、
 いの 中に ためて いるのです。
 生まれて 一か月半、大きく
 なった ひなたたちは、こんどは
 ひなどうして あつまりだします。
 かぜが ふくと、みを よせあつて さむさを ふせぎます。
 おすと めすが こうたいで えさを もちかえり、ひなを
 よぶと、ひなは その 声を ききわけて かけつけます。
 十二月、なんきよくに なつが やって 来ます。こおりが
 とけだし、海までの きよりが みじかく になると、ひなたち



さむさを ふせぐ ために あつまる ひなたち

10

5

①なんきよくの
 はるは、十月か
 ら十一月ごろ。
 なつは、十二月
 から二月ごろ。
 来る

一か月半

「いつ」「どんな ことを するの か」を 考えて、ペンギンの 子そだ ての しかたを 読みましょう。

● ペンギンの 子そだてを まとめよう



① きせつごとの エンペラーペンギ

ンの ようすを 下の ひょうに まとめましょう。

① じかんを あらわす ことばを 書き出しましょう。

② その とき、ペンギンの おや が する ことを 書きましょう。

③ おす・めす どちらが する ことか、○を 入れましょう。

② エンペラーペンギンが する こ との わけを 文しゅうから 考え ましょう。

なつ	ふゆ	じかんの ことば	
		きせつ 月	あき
	五月ごろ	三月半ば	きまつたば しょにあつま りはじめる。
	七月半ば	・たまごを 一つ うむ。 ・たまごを おす に あずけて、 海に えさを とりに いく。 ……	○
		○	○

④ 書く ⑦

142 ページ

④ 文しゅう ⑦
136 ページ

(れい)・めすが いなく なる わけ。
・ ひなどうして あつまる わ け。

③ この 文しゅうを 読んで お もった こと、おどろいた ことを、 おやペンギンと ペンギンの ひな の それぞれに ついて、書きま しょう。

本と ともだち



ペンギンの カギ かんそう

文しゅうを 読んで、おもった こと・考え た ことなどを かんそうと 言います。
おなじ 文しゅうを 読んで、ともだちと あなたとでは、かんそうが ちがう ことが あります。
はじめて 読んだ ときと 二どめに 読ん だ ときとでは、かんそうが ちがって くる ことも あります。
どうして かんそうが ちがうのか、かわっ たのかを 考えると、文しゅうをもっと ふ かく 読む ことができます。